

# MFSプルードント・ファンド (米ドル売り円買い)

追加型投信／内外／資産複合

## 交付運用報告書

第4期(決算日2022年6月15日)  
作成対象期間(2021年6月16日～2022年6月15日)

第4期末(2022年6月15日)	
基準価額	10,242円
純資産総額	2,560百万円
第4期	
騰落率	△ 13.2%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。分配金をお支払いした場合、分配金(税込み)を含めて計算しております。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記の委託会社のホームページの「ファンド情報」から当ファンド詳細ページにアクセスし、同ページの「目論見書・運用報告書」タブから「運用報告書(全体版)」を選択することにより、閲覧およびダウンロードいただけます。

運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される場合は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者の皆様へ

平素よりご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、「MFSプルードント・ファンド(米ドル売り円買い)」は、このたび、第4期の決算を行いました。当ファンドは、日本を含む世界の株式および債券ならびに現金(同等物を含みます。)に投資するMFSメリディアン・ファンズプルードント・キャピタル・ファンドの円建ての外国投資証券(ZH1円シェア・クラス)を高位に組み入れた運用を行うことにより、信託財産の長期的な成長を目指しております。ここに今期の運用経過等につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



MFSインベストメント・マネジメント株式会社

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル

<https://www.mfs.com/japan>

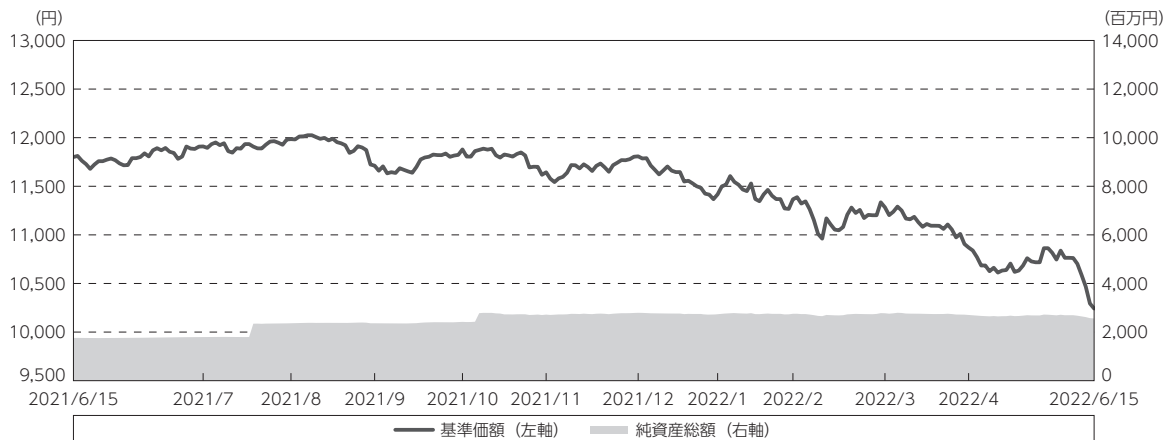
お問い合わせ先<営業部>

TEL.03-5510-8550

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

## 《運用経過》

## 基準価額等の推移について



(注) 当ファンドでは、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

## ■基準価額・騰落率

期首：11,801円

期末：10,242円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△13.2%(分配金(税込み)込み)

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、MFSメリディアン・ファンズプルデント・キャピタル・ファンド(以下、主要投資対象ファンドという場合があります。)の円建て外国投資証券(ZH1円シェア・クラス)の組み入れを高位に保つことにより、実質的に日本を含む世界の株式および債券ならびに現金(同等物を含みます。)に投資し、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。当期は、主要投資対象ファンドにおいて、運用方針に基づき、株式のウェイトを低めにする保守的な運用を行うとともに、米ドル売り円買いの為替取引を行いました。その結果、当期の基準価額は下落しました。主要投資対象ファンドの運用による基準価額の変動要因は以下の通りです。

## ・基準価額の上昇要因

株式銘柄のうち、コストコホールセール、KDDIなどを保有していたことが基準価額にプラスに影響しました。

## ・基準価額の下落要因

株式銘柄のうち、LEGイモビリエン、ヴォノヴィアなどを保有していたことが基準価額にマイナスに影響しました。

米国の金利が上昇したため、米国の短期国債や社債の保有が全体として基準価額にマイナスに影響しました。

米ドル/円相場が円安ドル高となったことから、米ドル売り円買いの為替取引が基準価額にマイナスに影響しました。

## 1万口当たりの費用明細

(2021年6月16日～2022年6月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	105 円	0.913 %	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(102)	(0.880)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 1)	(0.011)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 3)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.033	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 等 )	( 4)	(0.033)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用(監査費用)および法定書 類の作成・印刷等費用
合 計	109	0.946	
期中の平均基準価額は、11,539円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

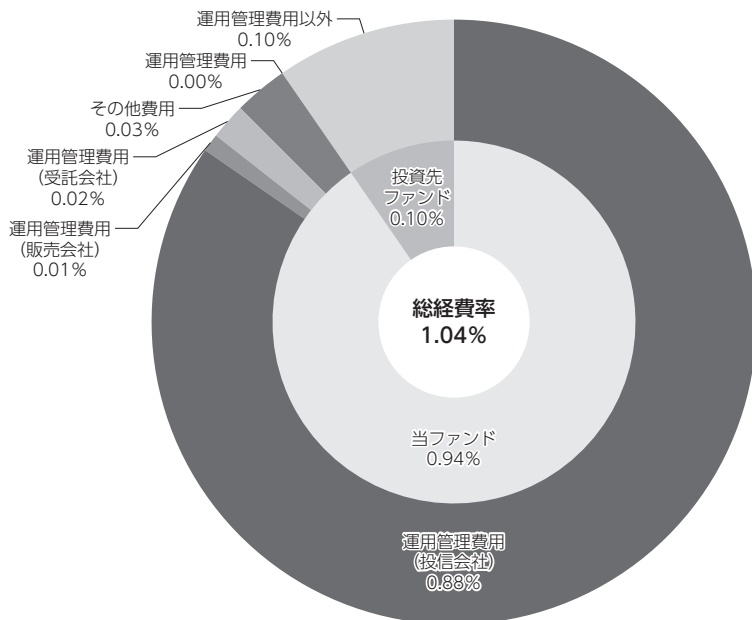
(注5) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注6) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.04%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.04
①当ファンドの費用の比率	0.94
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 四捨五入の影響で1万口当たりの費用明細の比率と差異が生じる場合があります。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの主要投資対象である外国投資証券および国内投資信託受益証券です。

(注) 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率は、外国投資証券のファンド管理費用の上限比率および国内投資信託受益証券の運用管理費用以外の比率の合計です。

(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について

(2017年6月15日～2022年6月15日)



- (注1) 当ファンドでは、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。  
 (注2) 分配金の支払実績がないため、分配金再投資基準価額の推移は表示していません。

	2018年9月26日 設定日	2019年6月17日 決算日	2020年6月15日 決算日	2021年6月15日 決算日	2022年6月15日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,250	10,888	11,801	10,242
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.5	6.2	8.4	△ 13.2
純資産総額 (百万円)	1	1,010	1,560	1,758	2,560

- (注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2019年6月17日の騰落率は設定当初との比較です。

## 投資環境

当期のグローバル株式市場は、下落しました。

期初から2021年8月までは、新型コロナウイルス禍からの経済再開に伴う景気回復期待が続く中、金融緩和維持の見方や米インフラ投資計画への期待などの好材料から堅調に推移しました。9月に、インフレ懸念を背景とした欧米の金融緩和策見直しの動きや中国不動産大手の経営危機報道などが嫌気され一時軟調となりましたが、良好な企業決算や経済指標から持ち直し、金融政策への思惑や新型コロナウイルスの新変異株（オミクロン株）への懸念をこなしつつ、年明けまで期中の高値圏で推移しました。

しかし、2022年1月以降は、インフレを巡る先行き不透明感や欧米金融当局のタカ派的姿勢の強まり、ロシアのウクライナ侵攻を背景に軟調な動きとなりました。3月後半に、原油高の一服、米利上げの消化、ロシアとウクライナの停戦協議への期待感から一時反発しましたが、その後は、米欧の金融引き締め加速やウクライナ紛争長期化などによる世界経済減速懸念などから下げ幅を拡大し、下落基調のまま期末を迎えました。

当期のMSCIワールド・インデックス（税引き前配当込み・現地通貨ベース）の騰落率は-9.67%となりました。

当期のグローバル債券市場では、世界的に金利が上昇しました。

米10年債利回りは、期初の1.5%近辺から2022年8月初までに1.1%台半ばに低下したあと、インフレに対する不安やパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の再任、景気回復期待、米金融政策への思惑から緩やかに上昇し年末には1.5%台となりました。年が明けるとFRBがインフレへの対応策として利上げに着手するとの見方から上昇ペースを速め、3月に利上げが実施されると2%を超えて推移しました。その後は、インフレが一段と進むに従い、FRBが利上げペースを速めるとの見方が強まったことから、上昇幅を拡大させ期末には3.3%近辺となりました。米短期金利もFRBが3月に利上げを決定し、さらに利上げペースを加速させたことから、上昇基調となりました。独10年債利回りは期初に-0.2%台ではじまり、年内は-0.1%~-0.5%のレンジ内での動きとなりました。年明け以降は、欧州中央銀行（ECB）が予想以上のペースで金融引き締めを実施するとの懸念から上昇し、期末には1.6%半ばとなりました。

為替市場では、米ドル/円相場は期初から9月まで110円近辺で推移していましたが、10月に入り米国の利上げ観測が強まると円安が進み、年末には115円台となりました。その後2022年3月初めまで115円近辺で推移していたものの、米国の利上げ加速に従い急ピッチで円安が進み、期末は135円近くとなりました。ユーロ/円相場は期初に133円近辺で始まり、期末にかけて円安基調となり、140円近辺で期を終えました。

## ポートフォリオの状況

当ファンドは、主要投資対象であるMFSメリディアン・ファンズブルーデント・キャピタル・ファンドの円建て外国投資証券（ZH1円シェア・クラス）の組み入れを高位に保ちました。

当期末の直近の月末である2022年5月末時点における主要投資対象ファンドの資産別構成比は、株式については、グローバル株式市場が割高水準にあるとの見方から、株式現物の組入比率を目安とする配分比率の下限である50%程度の水準となっています。また、社債についても、米国社債市場が割高水準にあるとの見方から、目安とする配分比率の下限である10%近辺の組入水準となっています。一方、現金、米国国債などについては高めの組入比率となっています。2022年5月末時点の株式および社債の組入上位銘柄は以下の通りとなっています。

## 組入上位銘柄(株式) ※デリバティブ取引を除く

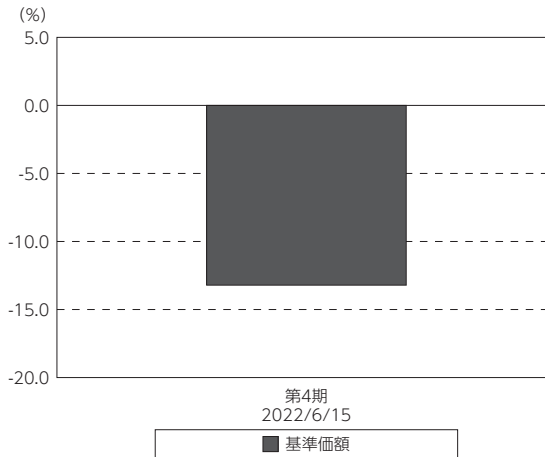
銘柄名	比率
LEG Immobilien SE	3.7%
Alphabet Inc Class A	3.6%
Vonovia SE	2.3%
Iberdrola SA	2.2%
Wolters Kluwer NV	2.1%

## 組入上位銘柄(社債) ※デリバティブ取引を除く

銘柄名	比率
WMG Acquisition Corp 144A 3.875% JUL 15 30	0.7%
HUB International Ltd 144A 7% MAY 01 26	0.6%
IAA Inc 144A 5.5% JUN 15 27	0.6%
Fair Isaac Corp 144A 4% JUN 15 28	0.6%
Match Group Holdings II LLC 144A 4.625% JUN 01 28	0.6%

## ベンチマークとの差異について

当ファンドでは、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

## 分配金

収益分配金については、基準価額水準・市況動向等を勘案し、お支払いを見送りました。信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて元本と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万円当たり、税込み)

項目	第4期
	2021年6月16日～ 2022年6月15日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,800

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 《今後の運用方針》

世界経済は、新型コロナウイルス禍からの経済再開に伴う需要拡大やロシアとウクライナの紛争長期化の影響によるインフレ懸念に加え、それを受けた主要な中央銀行の金融引き締めの動きが景気や企業業績に与える悪影響に注意を要します。投資においては投資対象の選別が一段と重要な局面にあると考えています。

当ファンドでは、引き続き、MFSメリディアン・ファンズブルーデント・キャピタル・ファンドの円建て外国投資証券（ZH 1円シェア・クラス）を高位に組み入れ、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。

MFSメリディアン・ファンズブルーデント・キャピタル・ファンドでは、引き続き日本を含む世界の株式および債券ならびに現金（同等物を含みます。）に投資し、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。また、ZH 1円シェア・クラスの純資産額を米ドル換算した額とほぼ同額の米ドル売り円買いの為替取引を行います。

## 《お知らせ》

該当事項はございません。

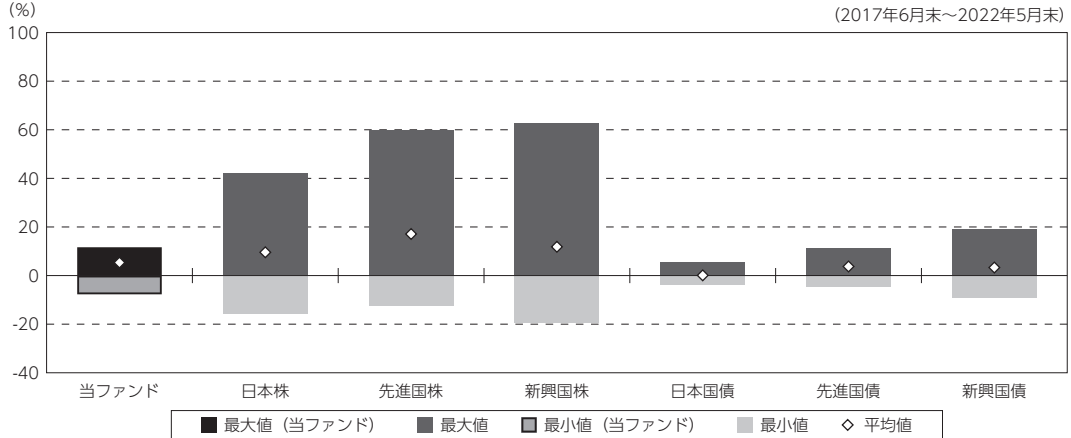
## 《当該投資信託の概要》

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限（2018年9月26日設定）
運用方針	この投資信託は、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。 ①主として、MFSメリディアン・ファンズ-ブルーデント・キャピタル・ファンドへの投資を通じて日本を含む世界の株式および債券ならびに現金（同等物を含みます。）等に実質的な投資を行います。 ②原則として、MFSメリディアン・ファンズ-ブルーデント・キャピタル・ファンドへの投資比率を高位に維持します。 ③資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
主要投資対象	次の有価証券を主要投資対象とします。 ①MFSメリディアン・ファンズ-ブルーデント・キャピタル・ファンドの外国投資証券（ZH 1円シェア・クラス） ②FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）の受益証券
運用方法	MFSメリディアン・ファンズ-ブルーデント・キャピタル・ファンドの特色は以下の通りです。 ①日本を含む世界の株式および債券への投資を通じて、資産の長期的な成長を目指します。 ②各アセットクラスへの配分比率は、目安として、株式を50%～90%程度、社債等を10%～30%程度とします。また、ポートフォリオ全体の価格下落リスクを軽減するため、あるいは市場環境や魅力的な投資機会が乏しいと考える場合は、ポートフォリオの40%程度まで現金等を保有する場合があります。 ③ZH 1円シェア・クラスは、実質的な通貨配分にかかわらず、原則として当該クラスの純資産額を米ドル換算した額とほぼ同額の米ドル売り円買いの為替取引を行います。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の合計額とします。 ②分配金額については、上記①の範囲内で委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合や委託者の判断によって分配を行わないことがあります。 ③収益分配にあらず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて元本と同一の運用を行います。



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	11.7	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
最小値	△ 7.7	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 4.0	△ 4.5	△ 9.4
平均値	5.4	9.6	17.1	11.8	0.1	3.7	3.3

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2017年6月から2022年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2019年9月以降の年間騰落率を用いております。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドの騰落率は分配金再投資ベースです。ただし、当ファンドは分配金の支払実績がありません。

## ※資産クラスについて

日本株 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株 MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込み、円ベース)

新興国株 MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債 NOMURA-BPI国債

先進国債 FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債 J Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

## ※指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

●東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広く網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X総研又は株式会社 J P X総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●J Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、J Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 《ファンドデータ》

## 当ファンドの組入資産の内容

(2022年6月15日現在)

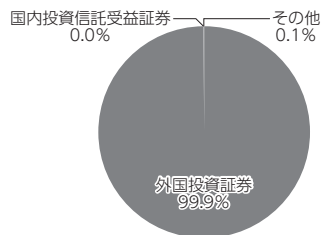
## ○組入上位ファンド

銘	柄	名	第4期末
			%
MFSメリディアン・ファンズブルーデント・キャピタル・ファンド(ZH1円シェア・クラス)			99.9
F O F s用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)			0.0
		組入銘柄数	2銘柄

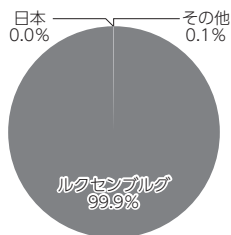
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

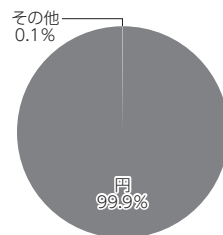
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 構成比は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注3) コール・ローン等は「その他」に分類しています。

## 純資産等

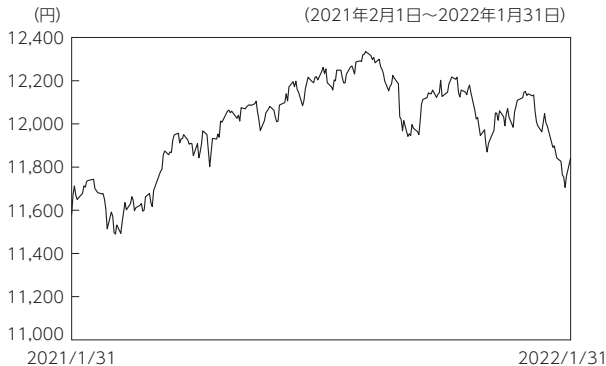
項 目	第4期末
	2022年6月15日
純資産総額	2,560,127,243円
受益権総口数	2,499,689,526口
1万口当たり基準価額	10,242円

\* 当期中における追加設定元本額は1,338,190,164円、同解約元本額は328,831,203円です。

## 組入上位ファンドの概要

## ◆MFSメリディアン・ファンズブルーデント・キャピタル・ファンド(ZH 1円シェア・クラス)

## ○基準価額の推移



## ○1万口当たりの費用明細

(2021年2月1日～2022年1月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

## ○組入上位10銘柄(株式、優先株式) ※デリバティブ取引は除く

(2022年1月31日現在)

銘柄名	通貨	国(地域)	比率
1 LEG Immobilien AG	ユーロ	ドイツ	3.9%
2 Alphabet, Inc., "A"	アメリカ・ドル	アメリカ	3.4
3 Vonovia SE, REIT	ユーロ	ドイツ	2.4
4 Wolters Kluwer N.V.	ユーロ	オランダ	2.0
5 Check Point Software Technologies Ltd.	アメリカ・ドル	イスラエル	1.9
6 KDDI Corp.	日本円	日本	1.9
7 Iberdrola S.A.	ユーロ	スペイン	1.8
8 Charter Communications, Inc., "A"	アメリカ・ドル	アメリカ	1.7
9 Sage Group PLC	イギリス・ポンド	イギリス	1.5
10 Nintendo Co. Ltd.	日本円	日本	1.5
組入銘柄数	40銘柄		

## ○組入上位10銘柄(社債) ※デリバティブ取引は除く

(2022年1月31日現在)

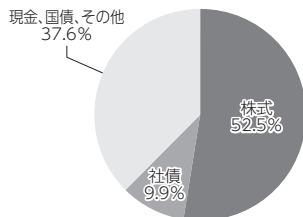
銘柄名	通貨	国(地域)	比率
1 WMG Acquisition Corp., 3.875%, 15/07/2030	アメリカ・ドル	アメリカ	0.7%
2 Hub International Ltd., 7%, 1/05/2026	アメリカ・ドル	アメリカ	0.6
3 IAA Spingo, Inc., 5.5%, 15/06/2027	アメリカ・ドル	アメリカ	0.6
4 Fair Isaac Corp., 4%, 15/06/2028	アメリカ・ドル	アメリカ	0.5
5 Match Group, Inc., 4.625%, 1/06/2028	アメリカ・ドル	アメリカ	0.5
6 Univar Solutions USA, Inc., 5.125%, 1/12/2027	アメリカ・ドル	アメリカ	0.5
7 Arches Buyer, Inc., 6.125%, 1/12/2028	アメリカ・ドル	アメリカ	0.5
8 Charles River Laboratories International, Inc., 4%, 15/03/2031	アメリカ・ドル	アメリカ	0.5
9 Teleflex, Inc., 4.625%, 15/11/2027	アメリカ・ドル	アメリカ	0.5
10 Sensata Technologies B.V., 5%, 1/10/2025	アメリカ・ドル	アメリカ	0.5
組入銘柄数	27銘柄		

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

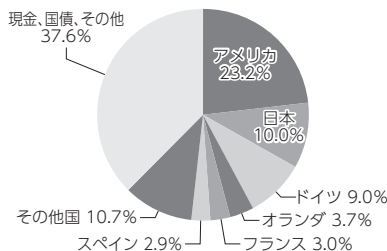
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

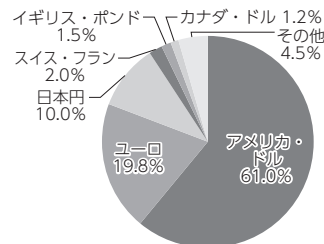
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 比率は当ファンドの純資産総額に対する時価評価額の割合です。また、デリバティブの比率は含めておりません。

(注2) 実質エクスポージャーを用いて計算した株式指数デリバティブの比率は-4.4%、株式オプションの比率は0.5%です。実質エクスポージャーは、直接的、またはデリバティブ取引を通じて間接的に保有する資産の価格変動により影響を受けるファンドの価値変動の推定に基づき計測されたものであり、市場時価とは異なる場合があります。なお、デリバティブ取引の利用により、売り建て（比率がマイナス）のポジションが生じる場合があります。売り建てのポジションは、買い建て（比率がプラス）のポジションと異なり、原資産の価格が上昇すると価値が毀損されます。

(注3) 株式には、上場投資信託（ETF）等の時価評価額の割合が含まれる場合があります。

(注4) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

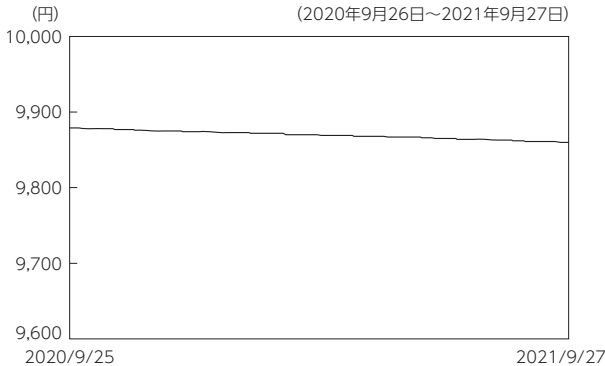
(注5) 通貨配分のその他には現金が含まれます。

(注6) 当ファンドの当該シェア・クラスにおいて行われている米ドル売り円買い等の為替取引のポジションは含めておりません。

(注7) 保有銘柄の詳細は運用報告書（全体版）に記載しております。

## ◆FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)

## ○基準価額の推移



## ○1万口当たりの費用明細

(2020年9月26日～2021年9月27日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬	14	0.144
( 投 信 会 社 )	(11)	(0.111)
( 販 売 会 社 )	( 1)	(0.011)
( 受 託 会 社 )	( 2)	(0.022)
(b) そ の 他 費 用	1	0.005
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.005)
( そ の 他 )	( 0)	(0.000)
合 計	15	0.149

期中の平均基準価額は、9,870円です。

(注1) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○組入上位ファンド

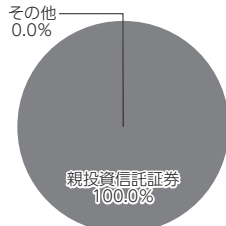
(2021年9月27日現在)

銘 柄 名	第11期末
短期金融資産 マザーファンド	%
組入銘柄数	1銘柄

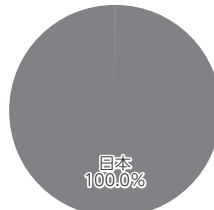
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

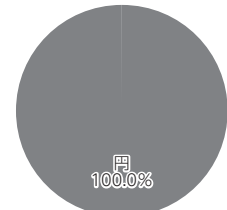
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



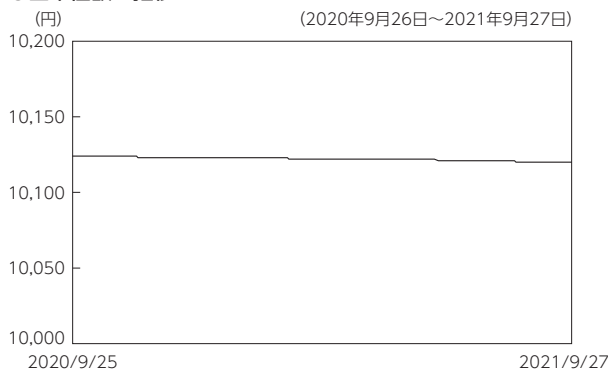
(注1) 構成比は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注3) コール・ローン等は「その他」に分類しています。

<ご参考> 短期金融資産 マザーファンド

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2020年9月26日～2021年9月27日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	0	0.000

期中の平均基準価額は、10,122円です。

(注1) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

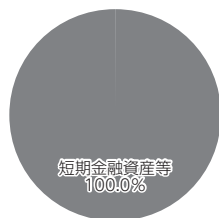
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○組入上位10銘柄

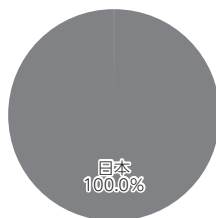
(2021年9月27日現在)

当期末における該当事項はありません。

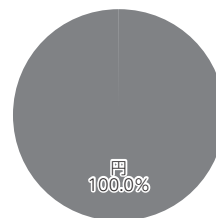
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 構成比は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注3) コール・ローン等は「その他」に分類しています。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。